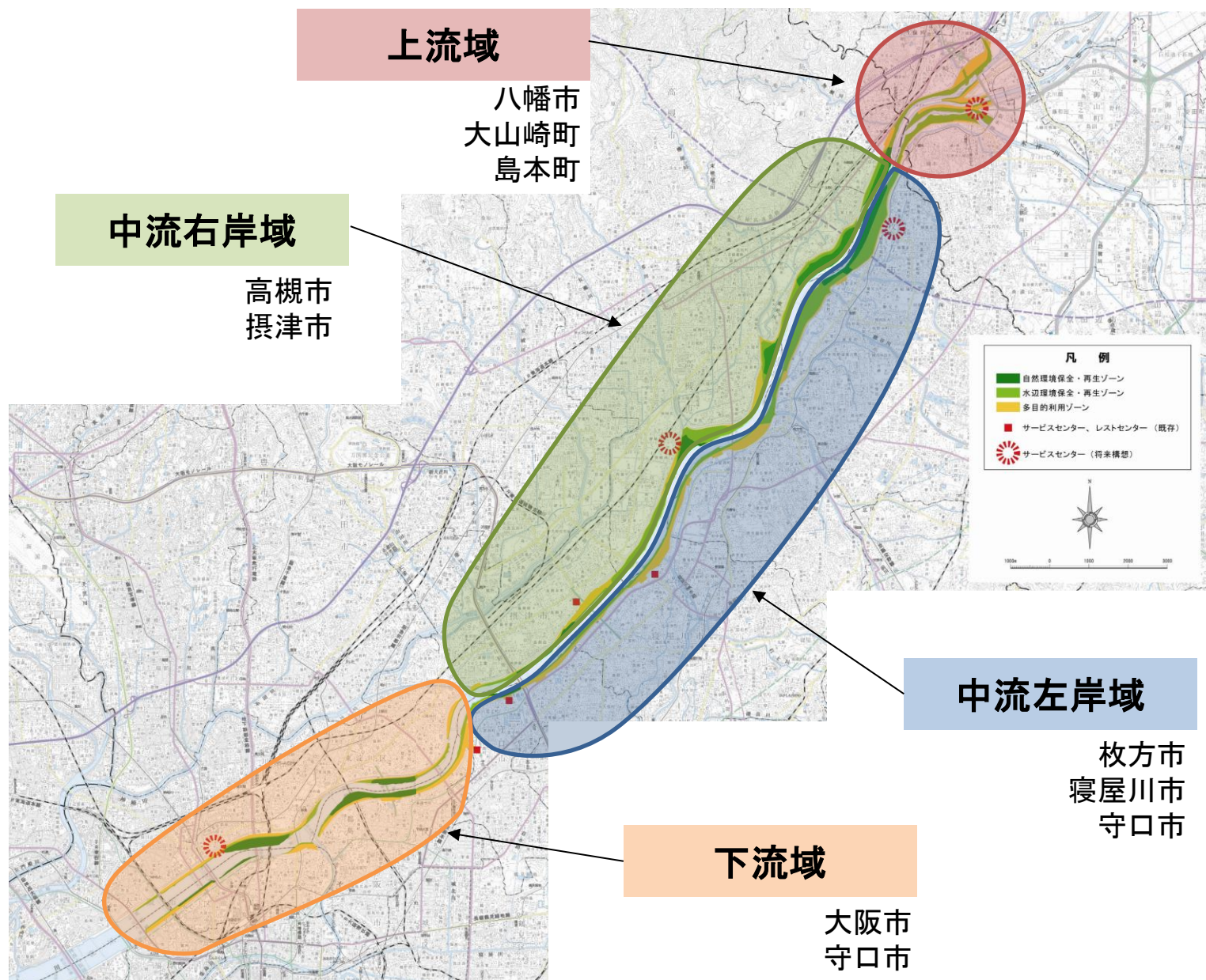


各地区における最新のトピックス

令和7年7月17日

淀川河川事務所



1. 公園整備等：御幸橋野草地区（上流域）

直近の
協議会

開催日：令和5年3月10日

主要議題：・御幸橋野草地区、背割堤地区の整備

御幸橋野草地区（約28ha）について、公園整備計画（H29）に基づき、令和3年度に工事着手し、令和5年度より部分開園（7.5ha）

工事着工前



工事着工後



広場



さくらであい館

背割堤地区

御幸橋

園路

広場

御幸橋野草地区

園路

木津川

チガヤ群落の再生を図った園路広場周辺

園路

1. 公園整備等：鳥飼上地区（中流右岸域）

直近の
協議会

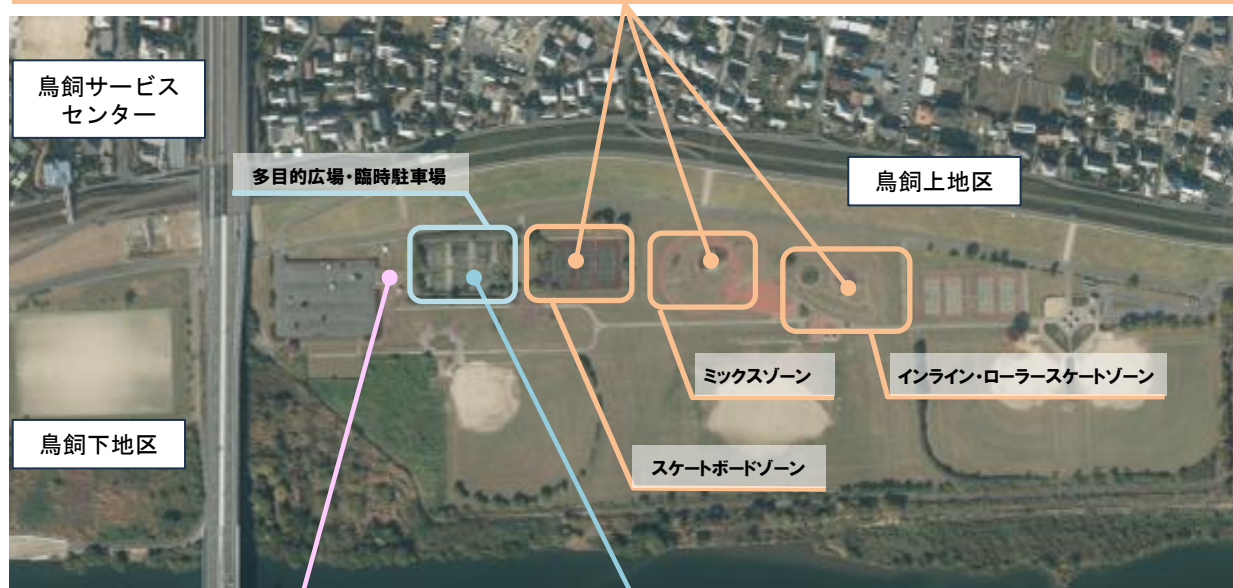
開催日：令和3年9月28日

主要議題：
・鳥飼上地区公園整備計画の変更
・大塚地区におけるワーキングの活動状況

老朽化により使用していない運動施設を、多様なニーズを考慮したローラースケート場のリニューアルや臨時駐車場としても利用できる広場に再整備を実施

1. 使用していない運動施設の新たな多目的用途施設への転換

- ・使用していないテニスコートと老朽化したローラースケート場について、多目的利用が可能な芝生広場の整備を行う。
- ・老朽化したローラースケート場については、近年の多様なローラースポーツのニーズにも考慮したうえで、施設規模を縮小した再整備を行う。



3. 案内サイン等の設置

- ・河川公園と鳥飼サービスセンターの相互利用を促進するため、サイン等の情報発信ツールの設置

2. テニスコートの臨時駐車場への転換

- ・老朽化により利用されていないテニスコートの撤去、臨時駐車場としても利用できる広場を整備

多目的広場・臨時駐車場



スケートボードゾーン



ミックスゾーン



インライン ・ローラースケートゾーン



1. 公園整備等：鳥飼上地区（中流右岸域）

- 初心者～上級者までの幅広い層で利用可能なローラースポーツ施設として再整備を行った。
- 4～5月の休日において約1,400人の利用があり、**若者や親子連れなど地域の憩いの場として賑わっている。**

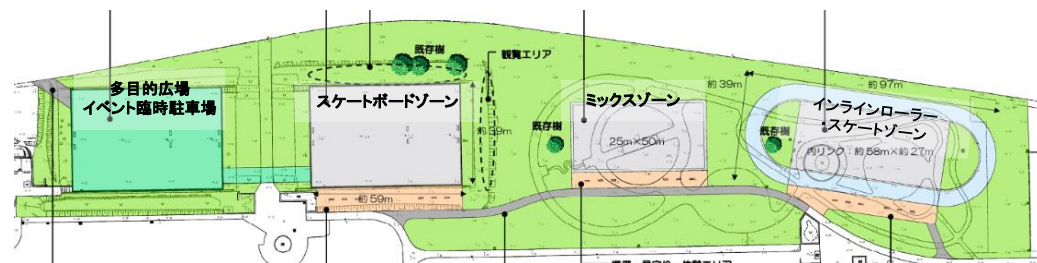
【ミックスゾーン】



【インライン・ローラースケートゾーン】



【スケートボードゾーン】



1. 公園整備等：大塚地区（中流右岸域）

大塚地区をモデルに、河川公園の魅力を発見するプロジェクトを令和3年度から開始

1. 取組の概要

地域住民・公園利用者らと、淀川河川公園のさまざまな潜在的な魅力の探り起こし、これら魅力の情報共有を図ることで、その地区に深く関わり、愛着を持った利用者を増やすため、R4年度にスタートさせた取組。主に以下内容を実施。



◆ 季節毎の河川公園の楽しみ方の発信を目的に、一般市民向けの自然学習系セミナー・イベントを継続的に実施。



春（初夏）の野草観察会



秋の野草観察とリースづくり



冬の野鳥観察会

◆ 地元の高校生や大学生との共催イベントの企画・運営を通して、高校・大学の部活動・ボランティアの活動の場としての連携を継続的に模索。



大学生とのイベント打合せ



野草迷路(大学生設計)



大塚冒険王(大学生企画)

【施策の効果（課題含め）】

- 自然学習系セミナー・イベントには毎回約30人、地元大学生との共催イベントについては約100人が参加。（R5・6年度実績）
- 主に冬季における公園利用の促進に寄与。
- 【課題】取組継続にあたって、地域団体による自立的運営を図っていく必要がある。

大塚地区利活用活性化プラン(R2年度の大塚地区ワーキングに提案済み)

河川敷で開催できる話題性のあるイベントを少しずつ増やし、季節ごとに何かが行われているようにする



<イベントの例>
・オリエンテーリング/ロゲイニング
・アドベンチャーレース



<イベントの例>
・バタオリンピック
・くらわんか筏レース

<イベントの例>
・フィールドアート
・クラフトワークショップ



<イベントの例>
・フィールド鬼ごっこ大会
・電動のりものレース



2. 実施の経緯

・R3年度 大塚地区魅力発見プロジェクトの発足

地域団体や教育機関の協力を得ながら、自然学習系セミナー・イベントの定期開催、担い手候補の発掘を実施。

・R4年度 セミナー・イベントの定着に向け、関係団体の補助を実施

地域団体や地元の高校、大学生に継続的に働きかけるとともに、セミナー・イベントの広報手段を模索。

・R5年度 R4年度の活動を継続的に実施

・R6年度 R5年度の活動を継続的に実施



地元の高校生への働きかけ
(公園の環境調査体験の実施)



地元の大学生への働きかけ
(現地視察の実施)

1. 公園整備等：点野野草地区（中流左岸域）

直近の
協議会

開催日：令和3年6月18日

主要議題：・点野野草地区の整備、枚方・三矢地区の再整備

点野野草地区において、公園整備計画（H25）にもとづき、令和2年度以降、再整備を実施

工事着工前



工事完了後

①



園路広場

工事完了後

②



園路広場

工事完了後

③



園路広場

1. 公園整備等：点野野草地区（中流左岸域）

「点野水辺プロジェクト」をH27年度に発足させ、ワークショップを14回開催して高水敷切下げ事業の内容を検討し、R3年度末に切下げ区域の上面整備が完了。

点野水辺づくりプロジェクトの経緯

平成25年3月：太間・点野野草地区公園整備計画策定

- ・点野地区でワンドの環境改善、水辺環境の再生を位置づけ

平成25年9月：中流左岸域地域協議会にて、点野野草地区を親水のモデル地区に選定

- ・点野野草地区を淀川中流左岸域の「みんなで育てる河川公園（仮称）」モデル地区として選定

平成26年9月：「点野の水辺づくりワークショップ」をスタート

- ・点野地区の「良いところ」「悪いところ」をテーマに、整備と管理について意見交換

平成28年5月：「点野水辺プロジェクト」として展開開始

- ・水辺利用が盛んな点野地区で、本格的な親水空間づくりに必要な「切り下げ事業」を実施する「点野水辺づくりプロジェクト」を発足

～現在まで「点野水辺プロジェクト」を継続的に実施

平成27年度～令和2年度：ワークショップにて意見交換

ワークショップの開催

平成27～令和2年度（計14回実施）

高水敷の切り下げ工事の実施

令和2年度	高水敷の切下げ
令和3年度	上面整備

1. 公園整備等：三矢地区(中流左岸域)

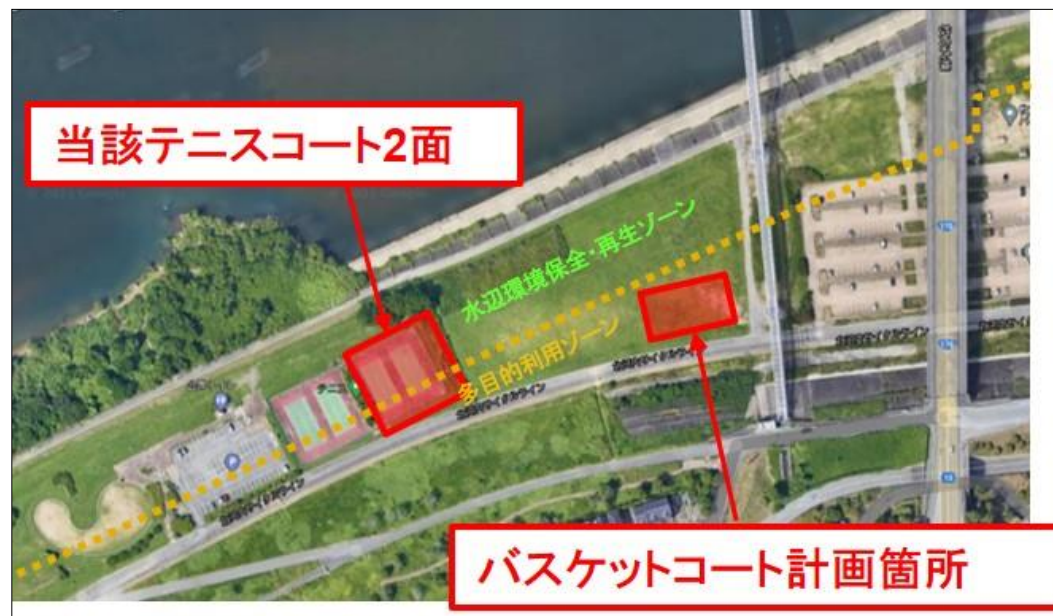
三矢地区において、台風被害を受けたテニスコート施設の再整備について、バスケットコート設置の要望を受理した。

自治体等との協議のうえ、公園整備計画の改訂(R3.6)を行い、ゾーニング計画に合わせた位置で、バスケットコート整備を行った。

バスケットコート全景 (R4.3)



オープニングセレモニーでの地元小学生による始球式 (R4.4)



バスケットコート完成 (R4.3)



1. 公園整備等：守口地区（下流域）

直近の
協議会

開催日：令和4年7月26日

主要議題：・守口サービスセンターの整備

公園整備計画にもとづき、守口サービスセンターの整備を推進

■基本コンセプト

- 1) 淀川全体に関する情報発信の拠点とする。
- 2) 自然観察会等のプログラムの実施拠点、公園利用者の憩いの場、さらには各種教室等を通じた健康づくりに寄与する場の提供箇所とする。

■施設設計方針

- 1) 必要最低限の設備を備えた施設、施設規模として約660㎡とする。
- 2) カーボンフリーな木造とする。
- 3) 公園の管理運営・サービス提供の中心拠点とする。
- 4) 憩いや多彩なプログラム・教室等の開催に対応すべく、フレキシブルに対応出来る会議室・多目的室等の施設構成とする。
- 5) サービスセンターと隣接するエリアに、以下の点に配慮した広場(見晴らし広場)を整備する。
 - ・利用、淀川の見晴らしを考慮した、堤防に近い位置に設置
 - ・キッチンカー等の導入も考慮した広さの確保



守口サービスセンターの淀川河川公園全体における位置付けのイメージ

1. 公園整備等：守口地区（下流域）

■ 守口サービスセンターの施設構成と機能イメージ

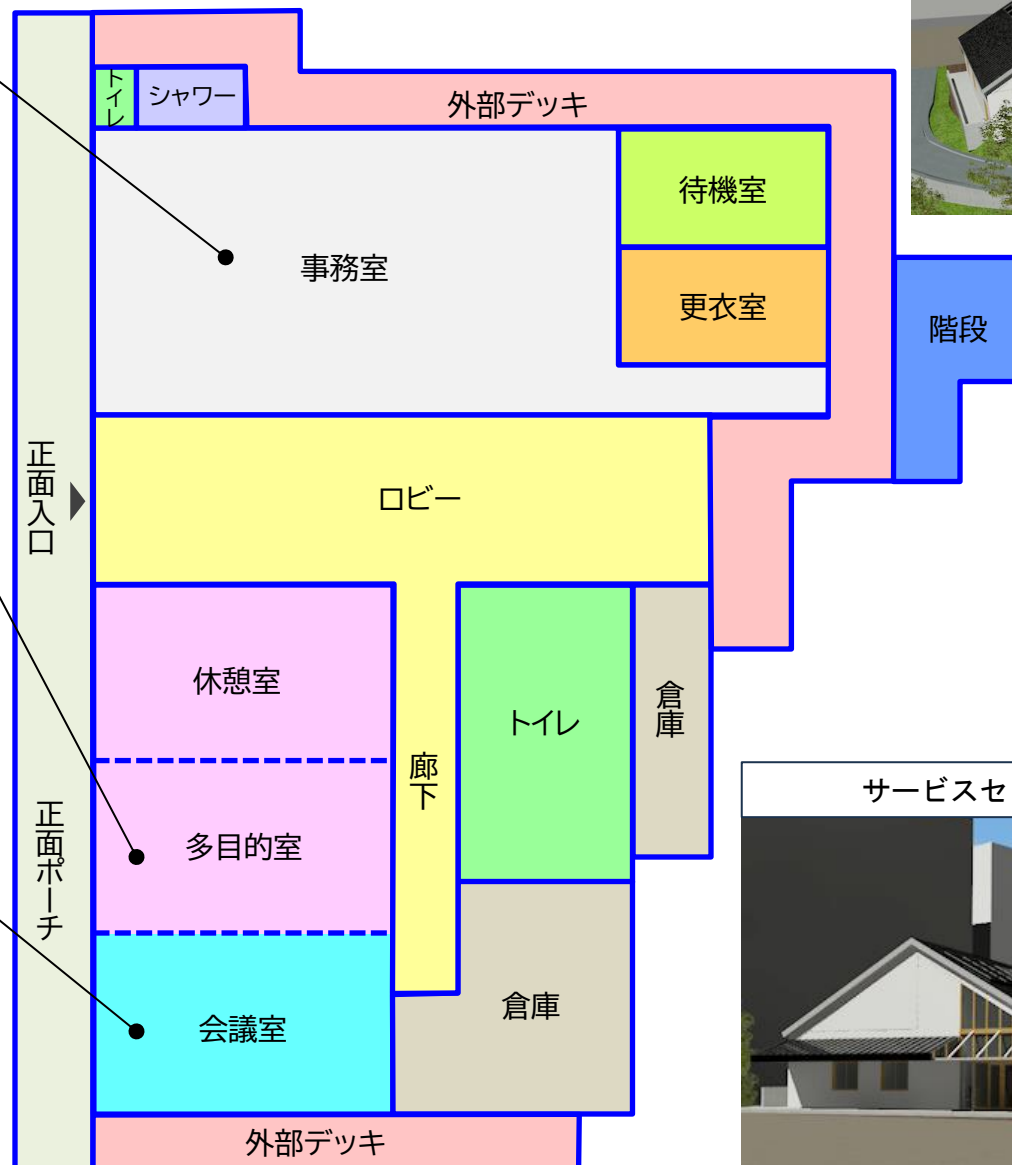
事務室（イメージ）



多目的室（イメージ）



会議室（イメージ）



サービスセンタースケッチ図（裏口）



サービスセンタースケッチ図（正面）



← 淀川方面

まち方面→

2. 淀川河川公園をとりまく関連情報(かわまちづくり)

河川事業において、河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指すことを目的に、平成21年度に「かわまちづくり」支援制度を創設し、市町村等からの申請にもとづき計画の登録を行い、ハード・ソフト両面から支援を行っている。

令和6年8月時点では全国で286カ所のかまちづくり計画が登録されている。

ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



遊歩道の民間活用
(道頓堀川／大阪市)



オープンカフェの設置
(京橋川／広島市)

先進的な取組の情報提供



民間事業者の参加
(信濃川／新潟市)



賑わい拠点の整備
(木曽川／美濃加茂市)

ハード施策による支援

- ・治水及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。
(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)

河川管理用通路の利用
(最上川／長井市)

親水護岸の利用
(新町川／徳島市)

2. 淀川河川公園をとりまく関連情報(かわまちづくり)

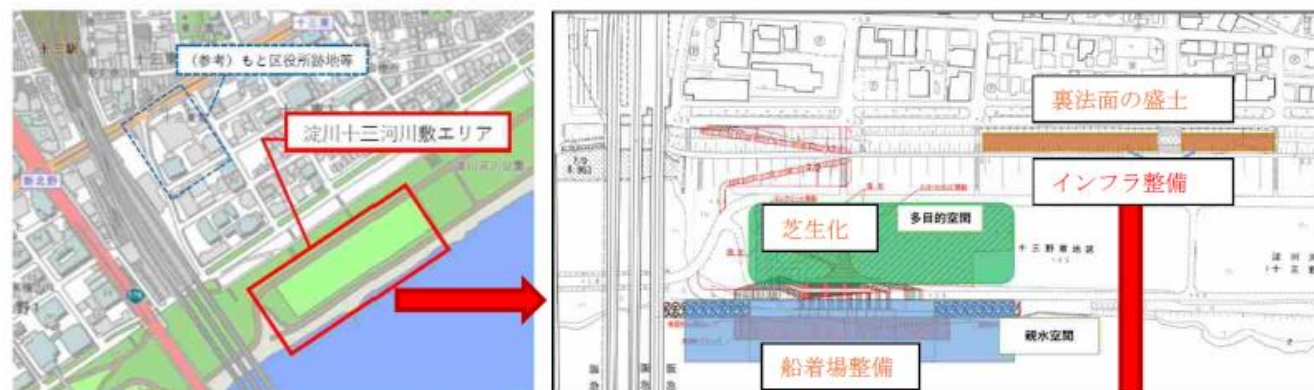
■かわまちづくり

十三 「淀川河川敷十三エリアかわまちづくり」

場所	大阪市（下流域）	概要	コンセプトである「子どもから大人まで多様な人が自然に集い、交流の輪が広がり、人が繋がる河川敷」に向けて、エリアの魅力向上を目指す
計画登録年	令和4年		
主体	大阪市、淀川河川敷十三エリア魅力向上協議会		



対象エリア位置図

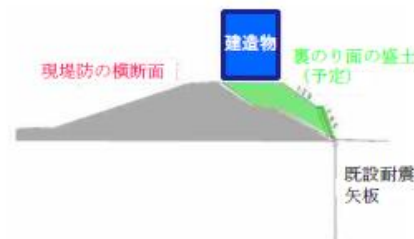


現状の魅力



協議会により生み出していく新たな魅力

裏のり面整備イメージ



2. 淀川河川公園をとりまく関連情報(かわまちづくり)

■かわまちづくり

枚方 「淀川河川敷枚方エリアかわまちづくり」

場所	枚方市（中流左岸域）	概要	淀川舟運の中継港として栄えた枚方宿を起点とした、観光客が滞在、周遊できる観光まちづくりを目指す ハード施策：多自然池再整備、アウトドア拠点の整備 等 ソフト施策：都市・地域再生等利用区域（河川空間のオープン化）の指定、民間企業の誘致 等
計画登録年	令和5年		
主体	枚方市		



※今後、工事実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

2. 淀川河川公園をとりまく関連情報(かわまちづくり)

■かわまちづくり

八幡 「八幡市かわまちづくり」

場所	八幡市（上流域）	概要	さくらであい館を拠点とした、水辺の多様な利用によるにぎわいの創出を目指す ハード施策：船着場及び周辺の整備、親水護岸整備 等 ソフト施策：都市・地域再生等利用区域（河川空間のオープン化）の指定、民間企業の誘致 等
計画登録年	令和5年		
主体	八幡市		



※今後、工事实施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。

出典：国土交通省近畿地方整備局 新たな『水辺を活かしたまちづくり』が始動